

NO.3

福原中だより

川越市立福原中学校

校長 柳 充

2021. 6. 1 発行

【目指す学校像】生徒全員がここで学べてよかったと思える福原中学校

～歴史と伝統ある福原中を生徒たちにとっての真の母校とする～

【目指す生徒像】

☆思いやりのある生徒

☆自ら学び、自ら考え、自ら行動する生徒

☆やり遂げる力を持った、たくましい生徒

☆自らの学校を愛し、郷土を愛し、その発展に尽くす生徒

第 75 回体育祭を開催しました

校長 柳 充

本校の 75 回体育祭を 5 月 29 日に開催しました。

現在、川越市は、延長されたまん延防止等重点措置の適用区域であり、今年度の体育祭も、種目の精選、練習時間の短縮、応援席等でのマスクの着用、種目間の手洗いと手指の消毒、保護者の方々の入場制限など、厳しい条件での開催となりました。

今年の体育祭のスローガンは「Challenge～友と挑戦する体育祭～」でした。「クラスや団の仲間と協力し、最高の体育祭を創り上げる挑戦」、「勝利を目指し、同級生と全力で競い合う挑戦」など、様々な挑戦を想起させるこのスローガンは、シンプルであると同時にとても美しいものです。

体育祭に先立って行われた 5 月 17 日の結団式、久しぶりに全校で集合した生徒たちに、「本気」、「協力」、「感謝」という 3 つの願いを、私は伝えました。「競技では、中学生らしく、ルールの中で堂々と闘い、本気で競り合ってほしい」、「各クラスや団の仲間と協力してほしい」、「体育祭ができるのは、みなさんを支えてくれている保護者や地域の方々、先生方のおかげなので、そのような人たちへの感謝の気持ちを忘れないでほしい」という、私の切なる思いを伝えました。

当日の開会式、3 年生体育委員の正面さんと石原さんの力強い選手宣誓は、青空に爽やかに響きわたる素晴らしいものでした。

各競技も見応えがありました。

「ボール運びリレー」や「宅配便リレー」は、練習の成果が現れやすい競技です。「ボール運びリレー」では、絶妙のコンビネーションで、楽しそうに、しかも高速でボールを運んでいくペアに歓声が起こっていました。複数の箱を手際よく組み合わせるとスイスイと運ぶ「宅配便リレー」の選手たちの活躍も素晴らしかったです。また、どれだけ一生懸命練習しても、当日、上手いかわずにゴールするのに手間取ってしまうこともあります。そのような選手たちにも、応援席の仲間や保護者の方々から温かい拍手が送られていたことも素敵だなあと感じました。

「選抜リレー」、クラスの代表が競い合うこの種目は、やはり 3 年生の力強さが印象に残りました。3 年間でのたくましい成長を、本気の姿の美しさを、私は実感しました。

「全員リレー」、この種目はクラスの団結の結晶のような競技です。この種目に勝利するために、クラスで一丸となり、走順を入念に考え、バトンパス等を練習してきたはずですが、白熱するレースの中、大きく手を振り、歯を食いしばり、全力で走る生徒たちの姿に、私も目頭が熱くなりました。まさに、「Challenge～友と挑戦する体育祭～」という体育祭のスローガンが胸をよぎる光景でした。

コロナ禍で、授業参観等で生徒たちの様子を十分に公開できていない現状ではありますが、本校の生徒たちは元気に、たくましく、心豊かに成長しています。その様子が、本日の体育祭を通して、少しでもお伝えできたのではないかと考えております。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。